

# 流水の正常な機能の維持

## 河川環境保全のために

川はもともと、流れる水の浄化や生物の生息・生育・繁殖環境の保護、漁業や観光の場になるなど、様々な機能をもっています。しかし、雨が少なく川が渇水になると、動植物の生息・生育・繁殖環境の悪化や農業用水の不足、景観の悪化、水質の悪化など、この機能を維持することが難しくなります。

鳴瀬川総合開発事業は、鳴瀬川及び田川の既得用水の安定補給等、流水の正常な機能の維持と増進を図ります。



平成6年撮影



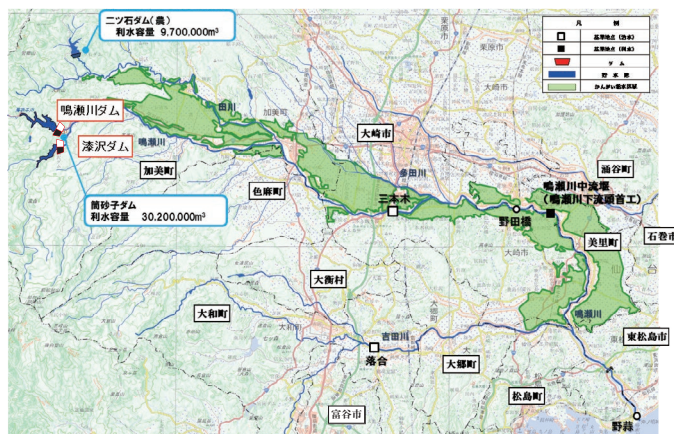
平成6年撮影

# かんがい

## 大崎耕土に対するかんがい用水の安定供給

鳴瀬川流域の田畑は国内でも有数の穀倉地帯になっており大崎耕土と呼ばれています。この大崎耕土は、平成29年3月「日本農業遺産」(農林水産省)、平成29年11月「世界農業遺産」(国際連合食糧農業機関)に認定されました。

鳴瀬川総合開発事業は、ニツ石ダムと合わせて、鳴瀬川及び田川沿岸の大崎耕土(約9,870ha)に対し、かんがい用水を補給します。



# 発電

## 水力発電によるクリーンエネルギーの開発

鳴瀬川ダムに貯めた水を使って、東北電力株式会社が最大出力2,300kWの発電を行います。水力発電は、発電にCO<sub>2</sub>を排出しないクリーンエネルギーです。



■水車



■発電機

※写真はイメージです(提供:東北電力株式会社)

ダムは色々な役割を持っているんだね。

